

回想もひと劇・6月号

平成25年 5月31日発行
発行 龍ヶ崎市回想法センター
龍ヶ崎市平台 5-9-7
電話・FAX 0297-65-4443
e-meil pia-kaiso@etude.ocn.ne.jp
h p www16.ocn.ne.jp/~piakaiso

田植えも終わりました

我が家が一番

気をつけましょうね



我が家、ホンとなら世界で一番ホッとする場所のはずなのに。歳を重ねるごとに、わが家でいつまで暮すことができるのだろうか心配になっている。

老老介護、老老認知症など、年とともに体の変調も気になります。年金は減るばかりなのに、医者に行くこともふえるなど等、何かと出費も増えるばかりで心もとない日々を送っています。そんな不安もなく快適に暮せている人たちが、今の日本全国にどれくらいいるのだろうか？

せっかくのわが家です。いつまでも、ホッとできる居心地のいい場所にしたいものです。いつまでも心地よく暮せるように、回想話で楽しく認知症を笑い飛ばして、明るく前向きに老と上手に付あって行きたいものです。

交通事故にあつて顔中を包帯で巻いた「息子」を母親は5カ月も看病した。それが、包帯を取ったら赤の他人であったと。ニセモノは、音信不通の息子の免許証を持っていて、病室で「母ちゃん」と甘えた。母親は、「やっと会えたという気持ちで一杯で、まさか他人だとは思わなかった」と警察に話したと、うそのような本当の話、しみりさせられる話が40年ほど前にあったそうです。

「母親はもったいないがだましようい」と、江戸川柳にあるように、お金の無心、放蕩の言い訳など、これは本当の息子の不心得です。

人様の母親をだます「振り込め詐欺」は悪質な犯罪です。そんな犯罪を、警視庁は関心を高めるために「お母さん助けて詐欺」という文言を公募で選び母の日に発表しました。多様化するばかりの手口に被害額は全国で1日4千万円を超え、詐欺集団は手を替え品を替え、何枚もある舌を使い分け親心を食べ物にしています。親心を食いものにされない為にも、電話のベルが鳴っても直ぐに出ないで留守電に入れること。振り込め詐欺は声を残したくないので留守電だと直ぐに切ると。一息ついてから、息子に掛け直すことが良いと教えてくれた方がいました。振り込め詐欺は、親を電話口に出し、泣きつき、たたみかけて話しかけるのが目的です。私たちも冷静な対応が求められており、慌てないことも大事なようですね。

6月の回想ガイド

開催場所 歴史民族資料館
開催時間 1時30分～15時30分
開催日 4日(火)、7日(金) 18日(火)、22日(土)

6月のおしゃべりサロン

開催場所 市役所地下元職員食堂
開催時間 2時～4時
開催日 10日(月)、24日(月)